

九州·四国·東北·中国·沖縄·北海道電力向け 遠隔出力制御 機能導入手順書

発行 V1.51 日付 2020-08-31



HUAWEI TECHNOLOGIES JAPAN K.K.

Copyright © Huawei Technologies Japan K.K. 2018. All rights reserved.

文書による華為の事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても 複製または転載は許可されません。

商標および許諾

注意

購入した製品、サービスおよび機能は華為とお客様の間の契約によって規定されます。本文書に記載され ている製品、サービスおよび機能の全体または一部は、購入範囲または使用範囲に含まれない場合があり ます。契約で規定しない場合、本文書内の記述、情報、推奨事項はすべて「無保証(AS IS)」で提供されて おり、明示的または暗黙的ないかなる保証も約束も行いません。

この文書の記載内容は、予告なく変更されることがあります。この文書作成にあたっては内容の正確に最 大限の注意を払っておりますが、この文書内のいかなる説明、情報、推奨事項も、明示的または暗黙的に 何らかの保証を行うものではありません。

☞ 為 技術日本株式会社

Huawei Technologies Japan K.K.

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアウエストタワー12F 12th Floor, West Tower, Otemachi First Square 1-5-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004 Japan

http://solar.huawei.com/jp

本手順書について

平素より HUAWEI 製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

本書では各電力会社と通信し、遠隔で出力制御対応する為の手順をご案内します。 監視機器について、下記製品の手順について説明します。

- データ収集装置 SmartLogger1000
 上記の商品名は本手順書において"SL1000"と呼びます。
- データ収集装置 SmartLogger1000A
 上記の商品名は本手順書において"SL1000A"と呼びます。
- データ収集装置 SmartLogger3000
 上記の商品名は本手順書において"SL3000"と呼びます。

本手順書において、上記機器は"SmartLogger"と表現します。

この手順書のSL1000のFWバージョンは"V100R001C00SPC118"を採用しております。 この手順書のSL1000AのFWバージョンは"V100R002C00SPC080"を採用しております。 この手順書のSL3000のFWバージョンは"V300R001C00SPC030"を採用しております。

操作PCのOSはWindows10 にて作成されております。

SL1000A、もしくはSL3000を SIM カード経由にて通信する場合、事前にSIMカードのAPN設定を実施する必要が御座います。本書ではご案内しておりません為、設定の上、本書をご参考下さい。 設定に関しましてはYoutubeの動画がご参考頂けます。 https://www.youtube.com/watch?v=ICJybAJa2Rw



文章中にQRコードがある場合はYoutubeの動画にて手順を説明しております。是非ご参考下さい。

変更履歴

文書のバージョンに対する変更は累積的に加えられます。最新版には、それまでのバージョンに加えられたすべての改訂が含まれます。

V1. 0	初回	2019-11-26
V1. 1	修正	2019-11-28
V1. 2	修正<電カサーバーアドレスの入手方法>	2020-01-09
V1. 3	各種追記、通信切断時自動解列設定追記	2020-05-08
V1. 4	Huaweiロゴ変更	2020-05-23
V1. 51	北海道電力追加・SL3000追加・FW変更・各種追記	2020-08-31

次 目

手順書について	2
SmartLogger へのWebUI アクセス	4
FWアップデート	. 12
電力会社サーバとの時間同期	. 16
PCS通信切断時自動解列設定	. 18
遠隔出力制御設定	. 20
固定スケジュールデータのインポート	. 23
トラブルシューティング	. 25

SmartLogger への WebUI アクセス

1. 作業 PC と SmartLogger の接続

SmartLoggerへの遠隔出力制御の設定は、PCを接続しインターネットブラウザ経由にて SmartLogger内蔵のWebUIにアクセスし、設定を行う必要が御座います。

その際、SmartLoggerはインターネットに接続できる環境である必要がある為、SmartLoggerと PCを直接LANケーブルで接続する方法では設定することが出来ません。 (SL1000A、もしくはSL3000でSIMカードの使用の場合を除く)

① 下図を参考にし、SmartLogger と PC を有線 LAN ケーブルにて接続します。



図. SmartLogger1000とPCの接続



図. SmartLogger1000AとPCの接続



図. SmartLogger1000AとPCの接続

※SmartLogger がモバイル回線にて通信する場合



図. SmartLogger3000とPCの接続



図. SmartLogger3000とPCの接続

※SmartLogger がモバイル回線にて通信する場合

2. 作業用 PC への IP アドレス固定

※本操作はYoutubeの動画がご参考頂けます。https://www.youtube.com/watch?v=xbtDwZ4uZH4



① 画面右下の「 🕄 」を右クリックし、「ネットワークとインターネットの設定を開く」をクリ ックします。



2 アダノダーのオノ	ンヨンを変更する」をクリックします。	
設定		- @ X
ŵ 赤-ム	状態	
設定の検索 🔎	ネットワークの状態	質問がありますか? ヘルプを表示
ネットワークとインターネット		Windows をより良い製品にする
♥ 状態	イーザネット 5 パブリック ネットワーク	フィードバックの送信
🕼 Wi-Fi	インターネット アクセスなし お使いのデバイスは接続されていますが ネットワーク トのものにはアクセ	
豆 イーサネット	るしているいているなめにする。制限付きのデータ通信プランをお使いの 場合は、このネットワークを従量制課金接続に設定するか、またはその	
☆イヤルアップ	他のフロバティを変更できます。	
% VPN	ムトランルシューティング	
歩 機内モ−ド		
(I) モバイル ホットスポット	利用できるイットノーンの表示	
() データ使用状況	ネットワーク設定の変更	
⊕ プロキシ	伊ダブターのオブシアンを変更する ネットワークアダブターを表示して接続設定を変更します。	
	日本 共有オプション	

L 1 0. . . ③ 使用する有線ネットワークアダプタ名を右クリックし、プロパティを開きます。
 ※Windows7 以前は「ローカルエリア接続」、Windows8 以降は「イーサネット」と表記 されます。



④ ネットワークデバイスのプロパティ(ここではイーサネット)が表示されます。
 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

	ット 5のプロ	パティ				2
ネットワーク	共有					
接続の方	法:					
2 4	SIX AX88	179 USB 3.	0 to Gigabit E	thernet Ada	pter #2	
				Г	權成(C)	
この接続	は次の項目	を使用しま	tす(O):	L		_
	Microsoft	ネットワーク	7用クライアント			^
🗹 🖳	Microsoft	ネットワーク	7用ファイルとプ	リンター共有		
	OoS /ናታማ	トスケジョ・	-7			
⊻ ⊥	インターネッ	ובאם"ל אי	レバージョン 4 (TCP/IPv4)		
	Microsoft			ipiexor Prote	Scol	
	インターネッ	トプロトコノ	レバージョン60	TCP/IPv6)		
					-	、 ×
`					N	-
12	.⊢–JL(N)	•	削除(U)		1、コパティ(R)	
122						
197 説明			· ナット プロトコリ	1. 相互接续	されたさまざま	ta
1) 説明 伝送	削御プロトコ	コル/インター		い、旧土技売		_
100 説明 伝送 ネット ルです	制御プロト: ワーク間のi	コル/インター 通信を提供	する、既定のワ	レートエリアネ	ットワーク プロ	
100 説明 伝送 ネット ルです	制御プロト: ワーク間のi	コル/インタ- 通信を提供	する、既定のり	レ。 相互 使祝 ロイド エリア ネ・	ットワーク プロ	
100 説明 伝送: ネット ルです	制御プロト: ワーク間の〕 。	コル/インタ- 通信を提供	する、既定のり	レ。 伯丘 反 む リイド エリア ネ・	ットワーク プロ	

⑤ IP アドレスを設定します。

A: "次のIP アドレスを使う"にチェック

B:SL1000、SL1000Aが初期IPアドレスの場合 →"192.168.0.11"に設定します。 SL3000が初期IPアドレスの場合 →"192.168.8.11"に設定します。 SmartLoggerのIPアドレスを変更済みの場合、 "xxx.xxx.xxx.ooo"の"ooo"の数値を重複しないよう 設定します。 ※例えば"192.168.11.10"がSmartLoggerのIPアドレスの場 合、"192.168.11.123"を設定。

- C: "255.255.255.0"を入力します。 ※自動で入力されます。
- D: ルーターの IP アドレスを入力します。 ルーターがない場合は、空白で問題御座いません。
- E:"D"と同じ値を入力します。 ※空白の場合は空白。
- F:最後に OK を選択すると設定は完了です。 先ほどのネットワークアダプタのプロパティ画面に戻りますので閉じてください。

<u>注意</u>

SmartLoggerの設定完了後、<u>"IPアドレスを自動的に取得する"</u>に設定を戻してください。 設定を戻さない場合、自宅や会社などでインターネットに接続できなくなります。 ※本作業前の設定値が<u>"IPアドレスを自動的に取得する"</u>ではない場合、作業前の設定値にご変更下さい。

1/9-ネット /ロトコル ハーション 4 (TCP/II 全般	PV4)007U/171	^
ネットワークでこの機能がサポートされてい	いる場合は、IP 設定を自動的に取得する	ことがで
さます。シルートされているいる言語、不知	ットリーク管理者に通切な IP 設定を向い	合わせて
ください。 〇 IP アドレスを自動的に取得する(O)		120EC

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)の	งวือパティ ×
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場 きます。サポートされていない場合は、ネットワー ください。	合は、IP 設定を自動的に取得することがで ・ク管理者に適切な IP 設定を問い合わせて
A ○ IP アドレスを自動的に取得する(O) ○ 次の IP アドレスを使う(S):	SL3000 の場合は 192.168.8.11 を入力
IP アドレス(1):	192.168.0.11 B
サブネットマスク(U):	255 . 255 . 255 . 0 C
デフォルト ゲートウェイ(D):	192 . 168 . 0 . 1 D
 DNS サーバーのアドレスを自動的に取得 ③ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E): 	する(8)
優先 DNS サーパー(P):	192.168.0.1
代替 DNS サーバー(A):	
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(V)
	F 95 ++>+

3. SmartLoggerWebUIのアクセス

PC よりインターネットブラウザを起動します。 ※推奨するソフトは InternetExplorer11 以降、GoogleChorme



① ブラウザのアドレス入力欄に SmartLogger の IP を入力します。

※入力の仕方→ https://(IPアドレス)/

<u>例(SL1000/SL1000A) https://192.168.0.10/</u> 例(SL3000) https://192.168.8.10/

② アクセスすると、以下のような画像のセキュリティ勧告が表示されるので、接続を続行してくださ

い。下図はGoogleChromeの画面です。

繋がらない場合はSmartLoggerとPC間のケーブル、IPアドレスの確認、 PCのネットワークデバイスを SmartLogger で使用しているデバイス以外を無効にしてください。

(ワイヤレス LAN などのデバイスの無効化)



③ SmartLogger WebUI のログインページが表示されれば接続成功です。

HUAWEI			SmartLogger1000
		Enspire	
	言語	日本語	
	ユーザー名	上級ユーザー	
	パスワード	Ô	1
		ログイン リセット	

2

1. SmartLogger の FW を本機能対応 FW にアップデートする必要が御座います。 対応している最新FWは下記の通りです。 事前にFWパッケージをご準備下さい。



FWアッフ

- データ収集装置 SmartLogger1000 FW: V100R001C00SPC118
- データ収集装置 SmartLogger1000A FW
 - FW:V100R002C00SPC080
- データ収集装置 SmartLogger3000 FW: V300R001C00SPC030

※FW パッケージはHuaweiより提供されます。お問い合わせください。

- 2. アップデート手順
 - WebUI ログインページにて【上級ユーザー】、もしくは【特別ユーザー】を選択しログイン します。

HUAWEI	Smar	tLogger1000
	Enspire	
<71 $^{-1}$	言語 日本語	
	ユーザー名 上級ユーザー	
	パスワード 🔒	
	ログイン リセット	

※初期パスワードは「Changeme」となります。

図. WebUI ログインページ

②【保守】を選択します。



③【ファームウエア更新】を選択します。

④【参照】を選択します。

・ファールウェア車等	(i) (ii) (iii)		5 87		A	
製品情報	C guis		更新ファイル	を選択してください:	Browse	マップロード
セキュリティの設定		書号	設備名称	設傷状態	現在のパージョン	対象パージョン
システム保守		1	Logger(Local)	•	V100R001C005PC110	NA
設備ログ		2	33KTL-JP(COM1-1)		V200R002C005PC111	NA
現場試験		3	33KTL-JP(COM1-2)		V200R002C005PC111	NA
-		4	33KTL-JP(COM1-3)		V200R002C005PC111	NA
		5	33KTL-JP(COM1-4)	•	V200R002C00SPC111	NA
設備接続		6	33KTL-JP(COM1-5)		V200R002C005PC111	NA
デバイスリスト		7	33KTL-JP(COM1-6)	•	V200R002C005PC111	NA

⑤ FW パッケージを選択し、開きます。

※SmartLogger の場合は【logger_usb.tar.gz】となります。
 ※SL1000Aの場合は【SmartLogger1000A.zip】となります。
 ※SL3000の場合は【SmartLogger3000.zip】となります。

Choose File to Upload	×
	- 🙆 🔽 😥
Organize 🔻 New folder	💷 👻 🗍 🔞
Name *	Date modified Type
logger_usb.tar.gz	11/28/2017 04:43 PM WinRAR archive
<u> </u>	
<u>د</u>	
File name: logger_usb.tar.gz	▼ All Files (*.*)
	<u>O</u> pen Cancel
	<u>5</u> /

⑥【アップロード】を選択します。

PC からSmartLogger へのFW パッケージのアップロードが開始されます。

※データ量や通信速度により時間がかかります。

Ensource	~						日本語	* (0E)
-napri e		既要) (監護	机、医屈照会、設定、保守					0 🛄 0 🛞 0
 ファームウェア更新 	④ 個別	■新 ○一括:	更新					
製品情報			更新ファイル	を選択してください: FWパッ	ケージの場所 Browse	アップロード		
セキュリティの設定		备号	設備名称	設備状態	現在のパージョン	対象パージ(6)	更新進步	IJ
システム保守		1	Logger(Local)	•	V100R001C00SPC110	NA		
設備ログ		2	33KTL-JP(COM1-1)	•	V200R002C00SPC111	NA		
• 現場試験		3	33KTL-JP(COM1-2)	•	V200R002C005PC111	NA		
台曲時間		4	33KTL-JP(COM1-3)	•	V200R002C00SPC111	NA		
C CMBIE		5	33KTL-JP(COM1-4)	•	V200R002C005PC111	NA		
設備接続		6	33KTL-JP(COM1-5)		V200R002C00SPC111	NA		
デバイスリスト	1	7	33KTL-IP(COM1-6)		V200R002C005PC111	NA		
パラメータエクスポート		8	33KTL-JP(COM1-7)	•	V200R002C00SPC111	NA		

⑦下図が表示されましたら、【確認】を押します。



- ⑧【口】にチェックを入れます。
- ⑨ 新しい FW が表示されていることを確認します。
- ⑩【更新】を選択します。

Enspire			11月 - 周辺照会 13定	(RY)		
● ファームウェア更新	 (国房) 	更新 〇一括3	Em			
• 製品情報	6	N		更新ファイルを選択してください:	Browse	9
セキュリティの設定		番号	設備各称	設備状態	現在のバージョン	対象バージョン
● システム保守		1	Logger (Local)	•	V100R001C005PC110	V100R001C00SPC112
・設備ログ		2	40KTL-JP(COM1-10)	0	V200R002C00SPC111	NA
- 明細試験						
■ 設備管理						
	<mark>〔〔</mark> 更新).]			
曲 時間 2017-11-29 14:45	系統指令:	P = NA PF =	0.980			Ste Copyright © Huav

① 更新が開始されます。

更新進捗が 100%になれば完了です。

完了すると、SmartLogger は自動的に再起動します。

第12010年1 日				更新ファイルを選択してください:	Browse	- 7+70-H		10
	2	器号	設備名称	設備状態	現在のパージョン	対象パージョン	digridate	10 + BACOLLE
	20	1	Logger(Local)	•	V100R001C00SPC110	V100R001C005PC112	0%	夏新中
		2	40KTL-JP(COM1-10)	0	V200RD02C00SPC111	NA		

3 電力会社サーバとの時間同期

① WebUI にアクセスし、"上級ユーザー"にてログインします。

※初期パスワードは「Changeme」となります。

HUAWEI		3	SmartLogger1000
		Enspire	
	言語	日本語	
	ユーザー名	上級ユーザー]
	パスワード	Ô	1
		ログイン リセット	

② "設定"より、"日付と時刻"を選択します。

Enspire		概要(監視) 履歴照会 一設定 (保	7)
二一般設定	~	日付と時刻	
日付と時刻		現地タイムソーン	(UTC+09:0
発電所		日付	2019-11-1

- ③ 現地タイムゾーンを"(UTC+09:00)東京"に変更します。
- ④ クロックソースを"NTP"に変更します。
- ⑤ サーバに各電力会社のサーバーアドレスを入力します。
- ⑥ "送信"を押します。
- ⑦ "NTP 同期テスト"をクリックし、テストを実行します。
- ⑧ 最終同期状態が"成功"になれば時刻同期設定は成功です。

E e power system			日本語 > (1)日
Enspire	概要の監視の歴史会の設定の	89	<u> </u>
■一般設定	▲ 日付と時刻		
日付と時刻	(3) 現地タイムソーン	(UTC+09:00)東京	
発電所	日付	2019-11-18 (YYYY-MM-DD)	
収益	時間	13:39:18 (HH:MM:SS)	1
■通信プロパティ	(4) <u>p</u> =ypy-z	NTP NTP同期テスト	$\langle \neg 0 \rangle$
イーサネット	5		
RS485		122 /1.66580	
電力量計	同期時期期間	i 1440 min (1~1440)	
管理システム	8 最终同期状意	成功	
Modbus TCP	同期サーバ	NA	
IEC103	最終同期日時	2019-11-18 13:39:18	
IEC104		(6) 送信	
■拡張パラメータ			
FTP			
Email			
ロボート設定			
DO			
USB	~		
山 時間 2019-11-18 13:39	彭税指令 P:NA Q:NA	والهلاية ويتلاطيها أحم	🐠 Copyright 🗈 Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

⑧ 完了後、次の手順の為にログアウトを行います。



1 PCS通信切断時自動解列設定

① "上級ユーザー"をログアウトし、"特別ユーザー"にてログインします。



- ② "監視"を選択します。
- ③ 任意のPCSを一台選びます。
- ④ "運用パラメーター"を選択します。
- ⑤ "機能パラメーター"を選択します。
- ⑥ "通信切断時自動解列"を有効に変更します。※本機能はSmartLoggerとPCS間の通信が切断した際に発電を停止します。
- ⑦ 🛑 にチェックを入れます。
- ⑧ "一括設定"を選択します。

遠隔出力制御 機能導入手順書

E e power system					日本語 ~ ()) 🕞
	展開ウィザード	概要 監視 履歴照会 設定 保守	_ (4)		³ ₆ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
SmartLogger1000A	運転情報 アクティ	(プアラーム 性能データ 発展者 運用パラメータ	LVRT特性曲線 バージョン情報		
Logger(Local)	系統パラメータ	R護パラメータ 機能パラメータ 電力調整			
	🛛 すべて 🛛 番号	信号名称	值 (6)		単位
• EMI(COM3-1)	1	通信切断時自動解列	^{無効} → 有効	▼	
E SUN2000	2	通信断時間	30	[1, 120]	min
• 4.95KTL(COM1-9)	3	系統障害後のソフト起動時間	20	[1, 1800]	S
• 4.95KTL(COM2-1)	(3)				
]				
	1				
	(8				
	送信 一括設定			44 4 1	▶ ▶ 1/1 ページ 移動
時間 2020-02-13 16:15	系統指令 P:NA Q:NA	ateria no no notre no	姚 Copyright	© Huawei Technologies Co.	, Ltd. 2019. All rights reserved.

⑨ "すべて"にチェックを入れ、"確認"を押します。

	有効	
一招	設定	Ľ
	すべて	.0
	24.5KTL(COM1-11)	
	24.5KTL(COM1-12)	
	24.5KTL(COM2-21)	
	24.5KTL(COM2-22)	D
	24.5KTL(COM3-31)	D
	24.5KTL(COM3-32)	
]		01
	確認	

10 失敗が"0"と表示されれば完了です。

5

遠隔出力制御設定

- ① 特別ユーザーにてログインした状態にて操作します。
- ② "設定"を選択、サブメニューより"有効電力制御を選びます。
- ③ 有効電力制御内の設定を下記のように設定します。
 - ●有効電力制御:有効
 - ●有効電力制御モード:遠隔出力制御
 - ●制御エリア:

〇九州電力の場合は"九州"を選択します。

〇四国電力の場合は"四国"を選択します。

〇東北電力、中国電力、沖縄電力、北海道電力の場合は"カスタム1"を選択します。

- ●出力制御時間:10分(電力会社様の指示に則ります。)
- ●PV 発電所 ID:発電所 ID(電力会社様の指示に則ります。)
- ●遠隔出力制御サーバ:"各電力会社のサーバーアドレス。

●証明書を有効化:有効

※九州電力様向けの出力制御の場合は"無効"となります。

●PV モジュール容量:接続される総 PV モジュール容量を入力します。

●発電所の出力:発電所の総発電出力を入力します。(バージョンによっては表示されません。) ④ 次に送信を押します。

Enspire	概要 監視 風原照会 設定 保守	7			A 0 10
R\$485	Archastrasta	9			
508H	1370-027 34314	有効電力制御	有効	~	3
-BZJERI	有効	電力制御モード	遠隔出力制御	~	
Modbus TCP	2	制御エリア	カスタム1	V	
有効電力制御		出力制御時間	10	min(0%->100%)	
無効電力制御		PV発電所ID	00001234000012340000****	()	
這篇停止	道院	出力制御サーバ	****		
DI		証明書を有効化	有効	▼ インボート	
	. PV	モジュール容量	****	kW(0~200000)	
エクスポート制限	_	最終接続状態	ログイン失敗		
		最終接続日時	2019-10-15 11:27:52		
		現在の制御率	0.0 %		
	インポート エクスポート				
			4		
			送信 サーバを接続してテスト		

※九州電力は以下⑤~⑨の手順は省略します。

⑤ "証明書を有効化"の欄右部にある"インポート"を選択します。



⑥ "ファイルを選択"をクリックします。

インボート	
ファイルを選択 ファイルを選択 選択さ…ません インボート	
クローズ	

- ⑦ 各電力会社に該当する証明書ファイルをアップロードします。
 ※証明書データは Huawei より提供されます。
 ※拡張子は【.crt】となります。
- ⑧ "インポート"を選択します。

インボート		
	ファイルを選択 ファイルを選択 選択さ…ません インボート	
	クローズ	

- ⑨ 再度"送信"を選択します。
- ⑩ "サーバを接続してテスト"を押します。



- 最終接続状態が"成功"となることを確認します。
 ☆特記事項:最終接続状態が成功であるにも係らずエラーコードが表示される場合があります。その場合は、サーバーアドレス、ネットワーク状態、発電所IDを再確認ください。設定値に異常がない場合は電源OFF→ONによるリセットをお願い致します。
- ② 30分以上待機します。(設定した瞬間は0%の出力制御となります。)
- ① 発電所の出力が100%等の数値を確認することが出来ましたら設定は完了となります。 ※PCS本体の出力制御を実施している発電所においては100%の表示とならない場合があります。 下図では、50kWのPCSを49.5kWに制限している為、99.1%の表示となります。

E e power system			
	展開ウィザード 概要 監視 履歴照会 設定 保	3	
© RS485	有効電力制御		
◎ 電力メーター	有効電力制御モード	遠隔出力制御	T
Modbus TCP	制御エリア	九州	•
	出力制御時間	10	▼ (0%->100%) min
● 有効電力制御	PV発電所ID		
 無効電力制御 	遠隔出力制御サーバ		
○ 遠隔停止	PVモジュール容量	51.030	[0.000, 200000.000] kW
a Di	発電所の出力	49.500	[0.000, 200000.000] kW
	最終接続状態	成功	
○ 自家消費	最終接続日時	2020-03-31 09:07:47	
◎ スマート無効電力補償	- 現在の制御率	99.1 %	
• DRM	インボート エクスボート		
		送信 サーバを接続してテスト	
曲時間 2020-03-31 09:23	系統指令 P:100.0% Q:無効	Ster Cor	pyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2020. All rights reserved.

☆特記事項:電力会社のスケジュールデータは30分刻みの時間(9:00,9:30,10:00…)ごとに出 力制御値が指示されております。遠隔出力制御を設定した瞬間において、制御値は0%とな る現象は正常です。次にスケジュールデータが読み込まれる時間になった際、現在の制御 率の値が変化します。

例えば、9:40に遠隔出力制御の設定を実施した際、次にスケジュールデータの制御値が反映されるのは10:00となります。

11:55の場合は12:00となります。

スケジュールデータが反映されるまで、PCSは0%の制限がかかり、発電が停止します。

また、電力会社のスケジュールデータの制御値が0%の場合、制御値は0%のまま変化しません。

6 固定スケジュールデータのインポート

※SmarLoggerのネットワーク回線が不安定な発電所の場合、固定スケジュールデータをイン ポートすることで、更新スケジュールデータの取得に失敗した際に固定スケジュールデータ で運用することが出来ます。

本項目の設定は必須でありません。状況によって導入することが可能です。

事前に電力会社より固定スケジュールデータを入手して下さい。

"5 遠隔出力制御設定"の項が完了した後に本操作を実施して下さい。

- ① 特別ユーザーにてログインした状態にて操作します。
- ② "設定"を選びます。
- ③ "有効電力制御"を選びます。
- ④ "インポート"を選びます。
- ⑤ "ファイルを選択"を選びます。

e power system			日本語 🗸 🕕 🕞
	概要 監視 履歴照会 設定 保守		
⊙ RS485	有刻電力制御		
● 電力量計	有効電力制御	有効	T
Modbus TCP	有効電力制御モード	遠隔出力制御	T
	制御エリア	九州	Y
● 有効電力制御	出力制御時間	10	▼ min(0%->100%)
○ 無効電力制御	PV発電所ID	000000000000000000000000000000000000000	
● 遠隔停止	遠隔出力制御サーバ	re-ene.kyuden.co.jp	
e Di	PVモジュール容量	0.000	kW(0~200000)
	最終接続状態	成功	
○ エクスポート制限	最終接続日時	2020-05-08 22:08:46	
		F0001 配付ナ7 田ウラムパール (左頭) お方かしナル (2
	インポート エクスポート	(5)	
	ファイル	を選択 ファイルを選択 選択さ…ません インボート	
		<u> </u>	

⑥ 固定スケジュールデータを選択します。

⑦ 開きます。

Open				×
← → ~ ↑ <mark> </mark> «		√ Ö		Q
Organize 👻 New fol	lder			
 Quick access This PC 3D Objects Desktop Documents Downloads Music Pictures Videos Windows (C:) Data (D:) Network 	6			~
File	name:	.data ~	すべてのファイル (*.*)	\sim
		\bigcirc	<u>O</u> pen	Cancel

- ⑧ "インポート"を選択します。
 ⑨ "確認"を選択し、作業は完了です。

インポート
ファイルを選択 ファイルを選択 …da インボート 8
クローズ
$\mathbf{\nabla}$
インボートされました 確認 9

7 トラブルシューティング

●NTP時間同期を実施する際、「ドメイン名の解決に失敗しました」と表示される

→SmartLoggerのネットワーク環境に問題がないか確認して下さい。

→電力会社サーバーアドレスに誤りがないか確認して下さい。

→SmartLoggerのDNSサーバーアドレスに誤りがないか確認して下さい。

(例えば、Google様のDNSサーバ「8.8.8」をセカンダリDNSサーバアドレスに追加して下さい。

●遠隔出力制御の設定後、エラーコード(更新スケジュールデータの取得に失敗、固定スケ ジュールデータの取得に失敗 等)が表示される。

→発電所IDの入力に誤りがないか確認して下さい。

→電力会社に問い合わせ、発電所IDが有効な状態であるか確認して下さい。

→電源OFF→ONによるリセットをお願いします。

お困りの際は弊社HotLineにお問い合わせください。

全面的な技術サポート及び充実のアフターサービス

電話: 0120-258-367 Eメール: Japan_ESC@ms.huawei.com

